

# 権利擁護／虐待防止

## 事例検討編④

### ③「意図的な虐待行為」と「非意図的な虐待行為」

# この教材のねらい

今回、配信する教材はある一つの事例を使って、さまざまな視点から考えて「虐待行為」について理解を深めていくものである。

この教材は、虐待には、意図的な虐待と、本人は意図せずとも周りから見ると虐待である「非意図的な虐待」があることに気がつくことをねらいとする。

# 研修の進め方①

まずは、次の事例を読み上げます。

# 事例（Aスタッフのことば）

Aスタッフは高齢者施設での介護経験が豊富で、即戦力として期待されて中途採用されました。Aスタッフ自身もそのことを十分に理解し、この施設のやり方を早く覚えようと取り組むほか、人懐っこい性格も駆使して、他のスタッフや利用者とも積極的に関わり信頼関係の構築に取り組んでいます。

Aスタッフは新しく入所してきたBさんの担当になりました。Bさんには子がいません。夫が亡くなった後はずっと一人で暮らしてきました。

Aスタッフは相談員から簡単な引き継ぎを受けた後、Bさんの居室に行き、Bさんに向き合って「Bさん、今日からよろしくお願いしますね」と挨拶しました。そして、ベッド横の床頭台に置いてある写真立てを指さし、「この写真はBさんの息子さん？」と質問しました。そのとき、Bさんの表情が一瞬くもりましたが、そのことにAスタッフは気がつきませんでした。Bさんが「いいえ、夫です」と答えると、Aスタッフは思わず「あっ！ そうだったそうだった。お子さんがいないって聞いていました。若いからてっきり息子さんかと思っちゃった！ あはは」と言ってしまう。「早くに夫を亡くしましたので……」と話すBさんに「あー、そうだったんだ。でも、イケメンの父さんだわ」と言いました。

# 事例（続き）

Aスタッフは、その後も訪室のたびに写真に向かって「父さん、待っててね。これから母さんを食事に連れて行きますから」と言ったり、「父さん、母さんをレクに連れて行きます。お留守番、よろしくお願いします」と話しかけました。またBさんに対しても「父さんがあの世で心配しないようにリハビリがんばろうね」と言ったり、「今日は一杯食べたねー、きっと父さんもあの世で喜んでもよ」と言ったりしました。

ある日、Aスタッフがいつものように写真に話しかけて、「さあ、レクに行くよー」と言うと、突然Bさんから「あなたに夫のことを父さんなんて気安く呼ばれる筋合いはない！」と大声で怒鳴られてしまいました。

## 研修の進め方②

次の質問を参加者に投げかけます。参加人数がそれほど多くない場合は、一人ひとりに順番に答えてもらいます。

①この事例における「意図的な虐待行為」は何だと思いますか？ 意図的な虐待行為とは、職員Aさんが虐待行為だとわかっている行為を言います。

※うまく答えが出てこない場合は、「前回と同じような答えでも構いません」と投げかけします。

②この事例における「非意図的な虐待行為」は何だと思いますか？

※うまく答えが出てこない場合は「Aさんは『認知症に対して、  
どういう認識を持っていると思いますか？』と投げかけます。

個人ワーク(5分)

Aスタッフはどのような虐待をしたと思いますか？

Aスタッフがしたと思われる虐待行為について、整理しましょう。

# 1)この事例における 意図的な虐待行為は何だと思いますか？

意図的な虐待行為：虐待したことを介護者が認識している虐待行為のこと。

## 2)この事例における 非意図的な虐待行為は何だと思えますか？

非意図的な虐待行為:介護者に虐待のつもりがなくても結果的に虐待を行ってしまっている行為のこと。

## 研修の進め方③

参加者に答えてもらったら、グループワークに入ります。

グループワークのテーマ・・・「この事例において無意識のうちにやってしまった虐待行為について考える」

・参加者はそれぞれの意識的にやったと思われる虐待行為と無意識のうちにやってしまったと思われる虐待行為について意見を出し合い、話し合っていきます。

☆このグループワークのねらいは、虐待行為だとはと考えずにやってしまった行為について、それが虐待行為であったかどうかと気づくということです。それくらいなら大丈夫だろうと勝手に考えていたり、そもそも仕方がないことだと割り切っていたことだったりしていなかったかと自分自身の考えに目を向けていくこととなります。話し合いを進めていく中で、虐待か否かの線引きを無意識のうちに持っていたかどうか気づいていくこととなります。

そのために、「正解は〇〇だ」ということを決めていくことではありません。

\*グループワークをしている中で、話題が全く違うものへとずれていかなければ、話し合っている内容を修正する必要はありません。

## グループワーク(10分)

この事例から、Aスタッフが気がついていない虐待行為があるか話し合ってみましょう。

## 研修の進め方④

- ①話し合いが終わったら、各自でワークシートに「非意図的な虐待行為」を記入してもらいます。
- ②記入してもらったら、それを一人ひとり発表してもらいます。
- ③ワークシートを回収して、全員の考え方を整理して、フィードバックして、研修は終了です。

個人ワーク(5分)

ワークシートに非意図的な虐待行為  
を記入しましょう

# この教材を終えるにあたって

職員が虐待行為であることを知りながら行う「意図的な虐待」は極めて悪質です。

しかし、非意図的な虐待は、職員が虐待だと気がついていない分、改善するのは簡単なことではありません。

職員同士が権利擁護の意識を高くもって、現場で相互チェックすることが必要です。

お疲れさまでした。

教材作成

北海道総合福祉研究センター  
理事長 五十嵐教行